

〔尊卑分脈〕清和天皇

貞純親王

經基王 天德五十六、始而賜源朝臣姓、號六孫王、依爲第六親王子也。

○按ズルニ、扶桑略記天慶二年二月八日ノ條、及ビ本朝世紀同年六月七日ノ條ニ、源經基ト見エタルヲ以テ見レバ、是レヨリ先既ニ源姓ヲ賜ハリシナルベシ、

〔左經記〕寬仁四年十二月廿六日壬寅、參關白殿、○藤原賴通故中務卿宮親王、具平二男、○資元服子也、今日

改名字并給姓、○源師房

〔續世繼七〕うたれ、村上のみかどの御子に、中務のみ子と申しは、六條の宮とも、後中書王とも申す、○中其御子に、つちみかどの右のおとと申しは、始て源の姓得させ給て、師房の大臣と聞えさせ給き、

〔皇胤紹運錄〕花山院

清仁親王

延信王 從四上、神祇伯侍從、依父親王奏、萬壽二三廿九、賜源姓云々、

〔諸家知譜拙記〕五、白川 花山源氏

延信王

康資王

顯康 白川祖、賜源姓

〔職原抄上〕神祇官

伯一人 ○中略、中古以來、花山院子、彈正尹清仁親王、後胤相續、他人不任之、彼四五品之時、給源姓、雖

任中少將等、任伯之日、復子王氏、是近例也、

〔中右記〕元永二年八月十四日戊子、今夕三宮之子宮有仁、賜姓爲臣、源朝臣、叙從三位、任右近衛權中

將 ○中略、賜姓之事、被仰下、右將、中辨雅兼了、後作官符、

件御子、賜姓爲臣之條如何、圓融院御子孫、未爲臣下也、冷泉院花山院三條院御子孫之方、賜姓之